

苫小牧市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業企画（素案）に寄せられた意見と市の考え方について（パブリックコメントの結果）

意見提出期間 令和5年12月15日 ～ 令和6年1月19日 （36日間）

意見提出人数 1人

提出意見件数 3件

提出意見と市の考え方・提出意見を考慮した結果とその理由 次のとおり

項目 No.	提出 人数	提出された意見 (意見提出区分 第三者利益による削除等の有無)	提出された意見に対する市の考え方 提出された意見を考慮した結果とその理由	反映区分
1	1	<p>(<u>原文</u>・整理要約 有・<u>無</u>)</p> <p>P 2 7 第2章 苫小牧市の状況 2</p> <p>P 5 0 第3章 高齢者施策の将来ビジョン 2</p> <p>介護職員の不足、確保について 正規、非正規にかかわらず、自立して生活していくのに十分な給与の保障が必要と考えます。離職の多くの理由に「業務内容がきつい」とあげていますが、「きつくなっている」一番の理由は人手不足が考えられます。十分な人員確保のためにも苫小牧で介護職員を続けていくために「今より少し上げる」より「公務員なみ」の給与の水準が必要です。</p>	<p>介護人材不足は、少子高齢化・人口減少時代において全国的な課題となっています。本市も例外でなく、介護人材の確保は、今後も重点的に取り組むべき課題の一つであると認識しています。</p> <p>介護従事者の処遇については、国において、賃上げのための補助金の交付や、介護報酬のプラス改定など、改善に向けた取組みが進められているところです。</p> <p>市の取組においても、現在の介護職員就業支援事業の内容について、より効果的な人材不足対策となるよう必要な見直しを加えつつ、介護ロボット・ICT等や外国人介護人材の活用に向けた取組みなどにより、介護人材確保・離職防止に向けた施策を実施してまいります。</p>	C

2	1	<p>P 6 8 第 4 章 高齢者保健福祉施策の推進</p> <p>高齢者の健全な生活、健康維持、重症化予防のためにも、交通手段の確保が急がれます。バスやタクシーなどの事業所への助成も要望したいです。</p>	<p>第 9 期計画においては、交通手段の確保について、重点的に取り組むべき課題の一つとして、移送サービスの新たな展開など、交通手段の確保に向けた取組みを推進していくこととしています。</p> <p>また、令和 5 年 12 月より開始した高齢者施設等物価高騰対策支援金事業の実施にあたっては、福祉サービス事業者に加えて福祉輸送限定事業者も新たに対象とするなど、事業者支援に取り組んでいます。</p> <p>引き続き、社会情勢を鑑みながら、バスやタクシー事業者にヒアリングを行うなどして、事業者支援に取り組んでいきたいと考えています。</p>	C
3	1	<p>P 7 7 第 5 章 介護保険事業の推進 6</p> <p>財源について 国の支出が少なすぎます。歳出予算の枠を理由にされずにさらに要望していただきたい。</p>	<p>介護保険制度につきましては、効果的かつ持続可能な制度を推進する観点から、社会経済情勢等の変化に応じて、これまでも様々な見直しが行われてきたところです。</p> <p>今後も必要な方に必要な介護サービスが提供される体制を構築していくため、介護給付費準備基金の適正管理を図るなど、十分な財源の確保に努めるとともに、必要に応じて、国への要望について検討していきたいと考えています。</p>	C

反映区分	提出された意見の反映状況
A	意見を受けて案を修正したもの
B	案と意見との趣旨が同様と考えられるもの
C	案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの
D	案に取り入れなかったもの
E	案の内容についての質問等